

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

●はじめに

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読み、注意事項、使用方法を十分にご理解頂いた上で正しくご使用下さい。又、本製品は間違った使い方をされると、人的障害や物的障害が生じる他重大な事故に発展する恐れがあります。



警告

- ・本体は水平に設置して使用して下さい。
- ・グラインダー・ヒーター・溶接機など、火気・火源の近くで使用しないで下さい。
- ・本体の改造等はしないで下さい。
- ・少しでも異常があると思われるときにはすぐに、使用を中止して下さい。
- ・本製品は車両用リフトで上昇された車両のオイル交換に使用する廃油受けです。本来の用途以外では使用しないでください。
- ・ガソリン・軽油・灯油などの燃料、シンナーなどの可燃性・揮発性の高い液体には、使用しないでください。



注意

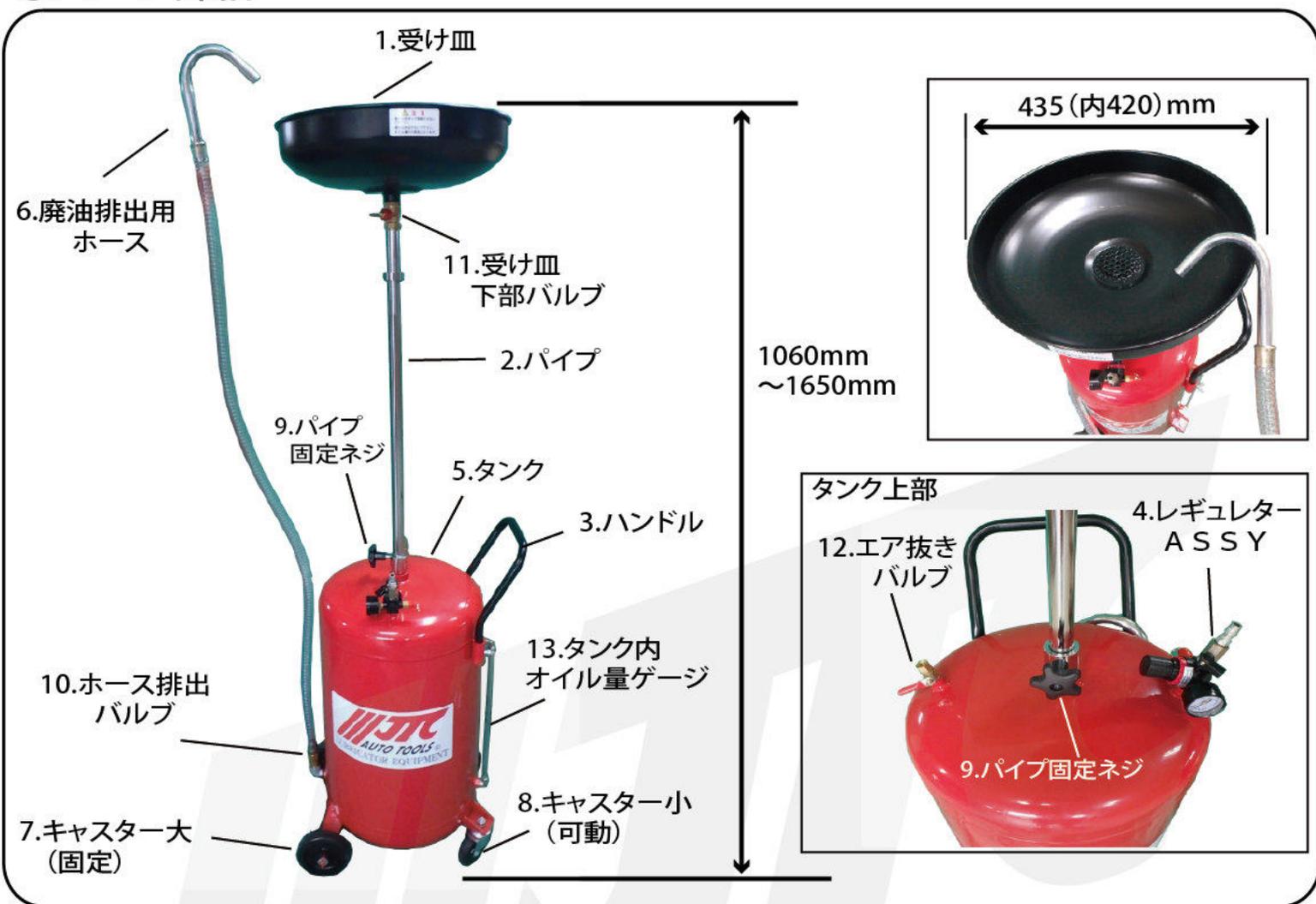
1. 使用前に各部に異常がないか確認してください。
2. 使用前に各バルブは使用に適した状態になっているか確認してください。
3. タンク内の廃油の量に気を付けてご使用ください。
満タンになる前にタンク内の廃油を排出してください。



仕様

- ・タンク容量：60 L
- ・高さ1060mm～1650mm
- ・排出：エア一式
- ・廃油受皿直径：435(内420)mm
- ・ホース長さ：1m45cm
- ・使用空気圧：0.2MPa以下

●パーツ詳細



注意事項 受け皿をつける際にOリングがはみ出ない程度に取り付けて下さい。
Oリングがはみ出るとオイル漏れの原因になります。

●受け皿高さ調整



1. タンク中央のNo.9パイプ固定ネジを少し緩めてパイプを上下させ伸縮して下さい。

※初回はパイプの動きが固い場合があります。その場合No.2パイプ表面に潤滑スプレーやグリス等を塗り数回上下させて高さ調整して下さい。

注意 :高さ調整をする際はパイプで調整して下さい。

受け皿を引っ張り上げて調整すると受け皿が破損します。

2. No.1受け皿の高さを調整した後に No.9パイプ固定ネジを締めてパイプを固定させて下さい。

●使用方法：車両からの廃油を受ける場合

1. 車両からのオイルを受ける時は下記のようなレバー操作をして下さい。



使用したい高さに調整してパイプ固定ネジを確実に締めて固定してください。



タンク上部のエア抜きバルブを開いて下さい。(立てる)



受け皿下部のバルブを開いて下さい。(立てる)



ホース付け根のバルブを閉じて下さい。(横にする)



注意：各バルブが開いていない場合、オイルがスムーズにタンク内に下がり受け皿に溜まり溢れる危険があります。

受け皿を持って移動させたり、受け皿を回さないで下さい。破損及び変形してオイル漏れの原因となります。廃油排出ホースは受け皿に引っ掛けてご使用ください。

●タンク内に溜まった廃油の排出方法

1. タンク内のオイルを排出する時は必ずエア接続前に下記のようなバルブ位置にして下さい。



タンク上部のエア抜きバルブを閉じる(横にする)



受け皿下部のバルブを閉じる(横にする)



パイプ固定ネジを締めて固定してください。



ホース付け根のレバーを開ける(立てる)

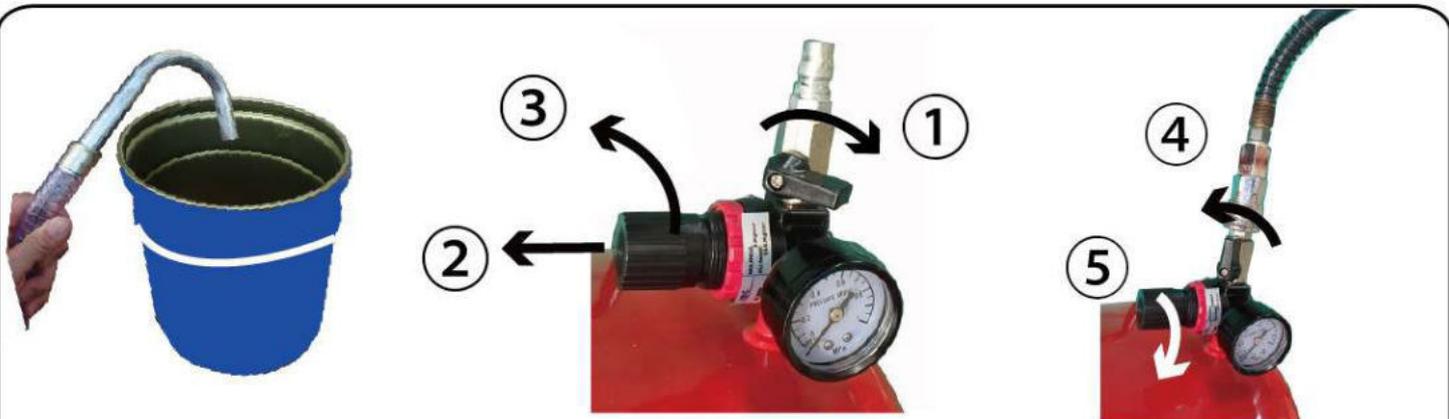


タンク内に溜まったオイル量はゲージパイプで確認できます。パイプの上部に達するまでに廃油を排出してください。



注意：各バルブは確実に閉じて下さい。少しでも開いているとバルブから廃油が噴出します。

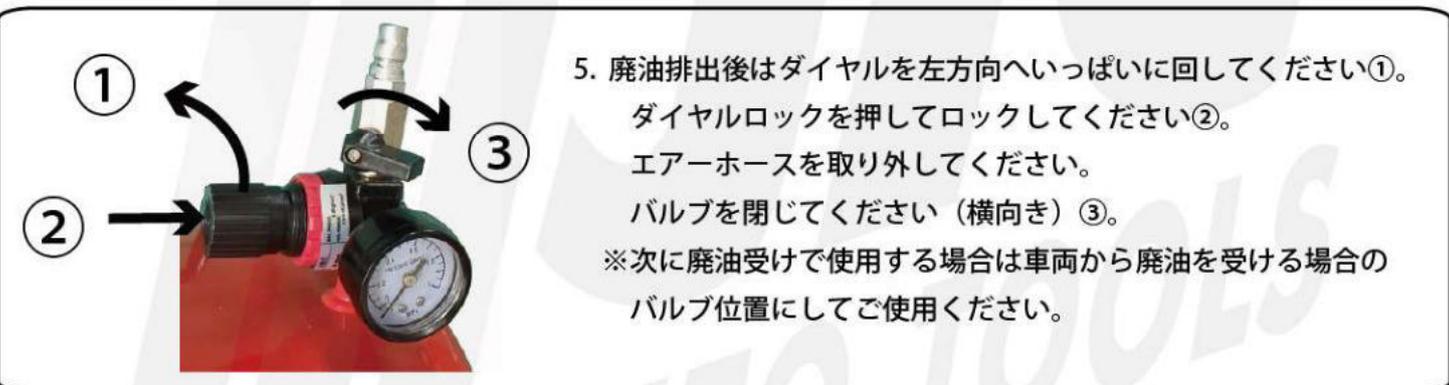
廃油は満タンになる前に必ず排出してください。満タンで使用し許容量を超えると受け皿、エア抜きバルブからオイルが噴出して周囲を汚す危険があります。



2. タンク内の廃油を排出する時はホースの先端を廃油貯蔵タンク等に差し込み飛散に注意して排出してください。
3. エアー接続前にレギュレーターのバルブを閉じてください①。(横向き)ダイヤルロックを引き出します②。
※強く引き出し過ぎると外れるのでご注意ください。左方向へいっぱいに戻してください③。
4. エアーチャックにコンプレッサーからのエアーを接続して下さい。バルブを開きます④。ダイヤルを右方向に必ず少しずつ回して0.2 MPa以上、上げないでください。

タンク内にエアーが供給され排出用ホースから廃油が排出されます

**注意：廃油排出ホース先端から廃油が排出します、ホースが廃油タンクから外れないようご注意ください。
 ダイヤルを一気に回すとオイルが大量に急激に飛散して周囲が汚れる危険があります。
 必ずダイヤルを少しずつ回して下さい。
 0.2MPa以上は圧力を上げないでください。圧力を上げ過ぎると本体の破損の原因となります。
 バルブ等から廃油が噴出した場合すぐにエアーを取り外して使用を中止してください。**



5. 廃油排出後はダイヤルを左方向へいっぱいに戻してください①。
 ダイヤルロックを押してロックしてください②。
 エアーホースを取り外してください。
 バルブを閉じてください(横向き)③。
**※次に廃油受けで使用する場合は車両から廃油を受ける場合の
 バルブ位置にしてご使用ください。**

! 注意！！

×

オイルを排出する際、
 保管する際は、排出用
 ホースを折り曲げないよう
 にして下さい。
 破損やオイル漏れの
 原因となります。

